

## 日本財団 ゼロエミッション船プロジェクト

世界初※1の水素燃料電池による洋上風車作業船の運航実証に関する記者発表会

日時：2024年4月4日（木）12：00～14：30

場所：小倉港、北九州国際会議場（福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目9-30）

日本財団（東京都港区、会長 笹川陽平）は、2022年1月よりCO2の排出ゼロの船舶を開発する「ゼロエミッション船プロジェクト」を推進しています。

本プロジェクトに参加する水素燃料電池洋上風車作業船コンソーシアムが開発した船舶「HANARIA（ハナリア）」が、2024年3月26日から4月4日にかけて、水素燃料電池を活用し、CO2を一切出さないゼロエミッション運航の実証実験を行います。

「HANARIA（ハナリア）」は総トン数20トン以上の船舶としては、国内初の水素燃料電池船です。また、水素燃料電池を搭載した洋上風車作業船でCO2を一切出さないゼロエミッション運航の実証実験を行うのは世界初の試みです。本実証実験が成功すると、本来運航中に排出されるはずであった約1.7トンのCO2がゼロ※2になります。

つきましては、以下の通り実証実験後に、船内内覧会と記者発表会を開催いたします。

※1:日本財団調べ（2024年3月時点）。水素燃料電池を搭載した洋上風車作業船によるゼロエミッション実証例として「世界初」

※2:実証試験の航路距離（約30km）を、化石燃料である軽油を使用して運航した場合のCO2排出量と比較（水素とバッテリーを使用した運航モード時）



実験船「HANARIA」

### ■開催概要（予定）：

日時：2024年4月4日（木）12：00～14：30（受付開始11：30）

### 《船内内覧・乗船体験》 12：00～13：00

場所：小倉港砂津棧橋（北九州市小倉北区浅野3丁目9-1）

- ・船内の内覧をしつつ、湾内をゼロエミッション航行します。（約20分。スタッフによる説明付き）
- ・応募多数の場合、2班に分けて乗船いただく予定です。

### 《記者発表会》 13：00～14：30 ※WEB配信あり

場所：北九州国際会議場イベントホール（北九州市小倉北区浅野3丁目9-30）

- |             |   |
|-------------|---|
| ① 挨拶・事業概要説明 | 日本財団 常務理事 <small>うんの みつあき</small> 海野 光行                                 |
| ② 関係者挨拶     | 株式会社MOTENA-Sea 代表取締役社長 <small>たかお かずとし</small> 高尾 和俊                    |
|             | トヨタ自動車株式会社 水素ファクトリー Chief Project Leader <small>はまむら よしのこ</small> 濱村 芳彦 |
|             | 北九州市 市長 <small>たけうち かずひさ</small> 武内 和久                                  |

- ③ 実験概要説明 水素燃料電池洋上風車作業船コンソーシアム  
株式会社MOTENA-Sea 取締役 向山 敦  
むかいやま あつし
- ④ 関係者写真撮影
- ⑤ 質疑応答
- ⑥ 囲み取材



■取材申込：取材を希望される方は、以下のURLまたは二次元バーコードより  
2024年4月2日（火）12：00までにお申し込みください。

<https://forms.gle/pzr95AGAh4TRwJie9>

■その他：

- ・**実証実験は関係者のみで実施するため公開しませんが、記者発表会で映像と実証実験の様子をお伝えするとともに、写真、動画等の素材提供をさせていただきます。**
- ・船内内覧後、北九州国際会議場イベントホール（福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目9-30）へ各自ご移動をお願いいたします。徒歩3分程度。
- ・本記者発表は、メディアの皆さま及び関係者のみを参集範囲としております。
- ・当日の天候により、12時からの乗船体験を中止する可能性がございます。最終的な実施の可否については、4月2日（火）中にご連絡差し上げます。

### ■日本財団ゼロエミッション船プロジェクト～温室効果ガス排出ゼロの未来の船を開発する～

CO<sub>2</sub> 排出ゼロの未来へ出航

本プロジェクトは、2050年に内航分野におけるカーボンニュートラルを実現するために、世界に先駆けて水素を燃料とした船舶（ゼロエミッション船）を開発し、実証実験を行います。2026年度末までの期間に、3つのコンソーシアム（※複数の民間企業体）と共同で、実証実験を実施予定です。



ゼロエミッション船の開発は、世界中で喫緊の課題であるカーボンニュートラルの実現を強力に推進するだけでなく、日本が世界的に高い技術レベルを有する水素技術やエンジン技術などを活かすことができる「未来の産業」として期待がされています。

<https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/zeroemission2050>

### ■日本財団について <https://www.nippon-foundation.or.jp/>

痛みも、希望も、未来も、共に。

日本財団は1962年、日本最大規模の財団として創立以来、人種・国境を越えて、子ども・障害者・災害・海洋・人道支援など、幅広い分野の活動をボートレースの売上金からの交付金を財源として推進しています。



### <本件のお問い合わせ先>

広報担当：日本財団 経営企画広報部 広報チーム 滝澤（070-3892-6732）

E-mail: [pr@ps.nippon-foundation.or.jp](mailto:pr@ps.nippon-foundation.or.jp)

事業担当（当日のお問い合わせ先）：

日本財団 海洋事業部 野本（080-9882-3568）、小嶋（070-7539-5486）

E-mail: [Zeroemission2050@ps.nippon-foundation.or.jp](mailto:Zeroemission2050@ps.nippon-foundation.or.jp)